

山行報告書				
日時	2024年8月9日(金)~14日(水)		天候	—
山名	北アルプス(鷲羽岳・黒部五郎岳)			
CL	こーちゃん	参加者	単独	
8/9~10 晴れのち曇り	博多20:35=(高速バス)=名古屋=(高速バス)=高山=(バス)=14:16新穂高温泉 新穂高温泉14:40...16:10ワサビ平小屋(小屋泊)口			
8/11 晴れのち曇り	ワサビ平小屋5:30...秩父沢...鏡平...弓折岳...13:45双六小屋(テント泊)			
8/12 晴れのち曇り	双六小屋5:30...双六岳...三俣蓮華岳...三俣山荘...鷲羽岳...三俣山荘...15:10黒部五郎小屋(小屋泊)			
8/13 晴れのち曇り	黒部五郎小屋4:50...黒部五郎岳...赤木岳...北ノ俣岳...14:00太郎平小屋(小屋泊)			
8/14 雨の曇り	太郎平小屋4:50...五光岩ベンチ...三角点...7:40折立 折立9:00=(バス)=有峰口=(電車)=富山=(新幹線)=敦賀=(JR特急)=京都=(新幹線)=18:00博多			
こーちゃん 感想	<p>北アルプス百名山の残り三座中の二座をクリアするために、新穂高温泉～折立までの約42Kmのロングトレールを歩いてきました。会山行として、参加者を募集しましたが、同行希望者がいなかったため、単独行になりました。当初は、全て山小屋泊の予定でしたが、双六小屋の予約が取れなかったため、1泊のためにテントを担いで登りました。ワサビ平から鏡平経由で弓折岳までの登山道は、風もなく、直射日光の中を、重い荷物を担いで、へろへろになりながら登りました。テントを担いできたことを後悔しましたが、当日宿泊地の双六小屋テント場は、北アルプスの中では最上級のコンディションと展望で、疲れが吹っ飛びました。</p> <p>双六小屋テント場から双六岳へ登り、三俣蓮華岳までの稜線は、槍・穂高・笠・鷲羽の展望抜群な遊歩道でした。鷲羽岳は、三俣山荘に荷物をデポしてピストンしましたが、直登の厳しい登りでした。</p> <p>黒部五郎小屋からの黒部五郎岳までの登山路には、湊沢カールと比べても引けを取らないカールの絶景が広がっていました。この景色を見て、百名山に選ばれた理由が分かりました。</p> <p>今回の山行は、連日天候にも恵まれ、大満足な山行でした。因みに、残り一座は、乗鞍岳なので、今年中に踏破予定です。</p>			
費用概算	交通費:約47,000円 宿泊費:約36,000円 食費:約10,000円			

槍ヶ岳 from 鏡平



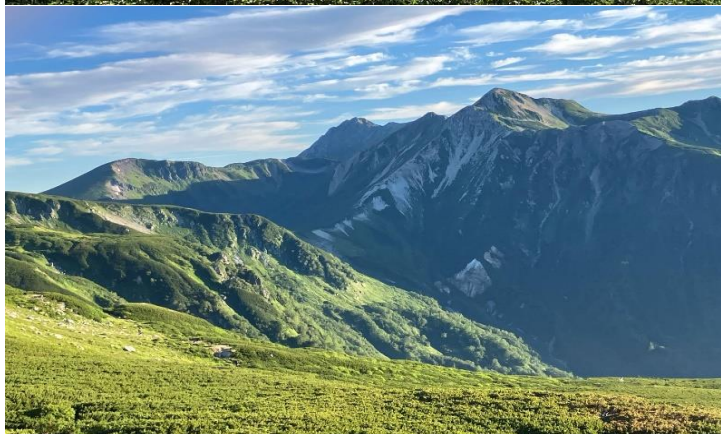
双六小屋テント場



笠ヶ岳 from 双六岳稜線



鷲羽岳 from 双六岳登山道



槍ヶ岳 from 鷲羽岳登山道



黒部五郎小屋



黒部五郎岳カール(1)



黒部五郎岳カール(2)

